

令和5年度 第2回山形県国民健康保険運営協議会における主な意見等

- 1 開催日時 令和5年12月7日(木) 午後2時00分～午後3時30分
- 2 開催場所 山形県自治会館2階 201会議室
- 3 出席者
 - (1) 協議会委員：玉木会長、佐藤委員、奈良崎委員、井苺委員、斎藤委員、齋藤委員、桂委員、吉原委員、丹野委員、保科委員、梅津委員
(12名中11名出席)
 - (2) 事務局：音山がん対策・健康長寿日本一推進課長、高橋課長補佐、菅野調整主査、門脇主査、遠藤主査、菅原主任主事、金澤主事
- 4 内容
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ
 - (3) 報告
 - ① 令和4年度山形県国民健康保険特別会計の決算について
 - (4) 協議
 - ① 令和6年度市町村納付金及び標準保険税(料)の算定方針について
＜主な質疑応答＞
 - 【委員】
 - 財政安定化基金による決算剰余金を活用した納付金の減算についての質問
財政安定化基金のうち、「財政調整事業分」残高の20億円を超える部分を納付金の減算の財源にできるとしている。残高を20億円とするのはなぜか。
 - 【事務局】
 - 財政安定化基金による決算剰余金を活用した納付金の減算についての質問への回答
過年度分の前期高齢者交付金等の精算が発生する可能性を加味し、それらの財源として残高を20億円としている。

② 第2期山形県国民健康保険運営方針について

<主な意見>

【委員】

○ 今後の被保険者数の減少に関する御意見

国保の被保険者の減少については、後期高齢者医療制度に出ていくことで被保険者が減っていることもあるが、高齢でも働く方が増えていることなどもあり、新しく入ってくる被保険者が少なくなっていることもある。

今後も、国保の財政規模はさらに縮小することが予想されるので、被保険者数の減少については、注視していく必要がある。

【委員】

○ 医療費の適正化に向けた取組に関する御意見

市町村としては、「医療費が増えないでほしい」との思いがあると思われる。そのためにも、第6章に示す「医療費の適正化に向けた取組」を通じて、健康であるための施策を進めてほしい。

特に、高齢者が生きがいを持って社会に参画することが、地域共生社会の貴重な担い手になるだけでなく、ずっと健康でいられることに繋がっていく。

【委員】

○ 高齢者の健康に関する御意見

「生きがい」と「人の役に立つこと」はセットで考える必要がある。人の役に立っている間は、健康であり続けることが自然と形になっていく。高齢者の力をうまく借りていくことで、自然と運動することで健康になり、医療費も下がっていく。以前はお茶のみに行く高齢者も多かったが、最近は家にこもっている方も多いため、ぜひ「生きがい」と「人の役に立つこと」をセットで進めていただきたい。

(5) その他

【事務局】

次回、令和5年度第3回山形県国民健康保険運営協議会は、3月中旬の開催を予定している。詳しい日程については、後日連絡させていただく。

(6) 閉会